

# 2026年12月期 第一四半期 決算補足資料

INTERMESTIC

---

Zoff

 **メガネスーパー**  
EYE CARE STATION

 **メガネスーパー**  
コンタクト

2026年5月18日

- **本資料は2026年5月12日に開示しました2026年12月期第一四半期の決算短信に関して、多数お問合せを頂いている内容につきまして開示するものです**

## 2026年12月期 第一四半期 連結業績

第一四半期の実績について、計画対比の数値を多数ご質問頂戴しておりますので以下開示させていただきます

- 第一四半期の実績について売上・利益ともに計画を超過して推移
- 特に利益面では、販管費を抑制しながらも売上の成長を実現できたことから大幅な上振れを実現

単位：百万円、%	2025/12期 1Q		2026/12期 1Q計画		2026/12期 1Q 実績				コメント
	金額	売上比 %	金額	売上比 %	金額	売上比 %	前期比 %	計画比 %	
売上高	11,680	100.0%	20,348	100.0%	21,104	100.0%	+80.7%	+3.7%	ZoffとVHの双方で計画超過
Zoff	11,680	100.0%	13,403	65.9%	13,960	66.1%	19.5%	+4.2%	マーケティング施策が奏功し計画超過
VH	-	-	6,945	34.1%	7,144	33.9%	-	+2.9%	コンタクトレンズ（CL）が好調に推移し、計画超過
売上総利益	8,885	76.1%	14,316	70.4%	14,856	70.4%	+67.2%	+3.8% (+0.0pt)	VHにてCLを取り扱うことから粗利率は前比で低下も計画通りの粗利率にて着地
販売管理費	6,988	59.8%	12,361	60.8%	12,388	58.7%	+77.3%	+0.2%	販管費額は計画と概ね乖離無し 販管費を抑制しつつ増収を実現
EBITDA <sup>1</sup>	2,139	18.3%	2,790	13.7%	3,256	15.4%	+52.2%	+16.7%	上記に伴い前期比・計画比で大幅増益
営業利益	1,897	16.2%	1,954	9.6%	2,467	11.7%	+30.1%	+26.3%	

注1：EBITDA=営業利益+減価償却費+敷金償却費+のれん償却費+その他償却費

## レンズ供給に関するご質問について

各新聞報道や他社様のレンズ供給情報に伴い、当社にもお問合せを多数頂戴しておりますので以下ご回答させていただきます

ご質問	当社見解
ナフサ供給停止に伴うメガネレンズ材料供給停止の報道があったが当社への影響はどれほどか	報道については承知しておりますが、当社として事業運営に支障が生じる内容は現段階で把握しておりません。 レンズの調達につきましてはメーカー様とも連携をさせて頂きながら、今後も状況を注視してまいります。
屈折率の高いレンズの販売停止はナフサ供給の影響によるものか	当社においても現在屈折率1.76の薄型非球面レンズについて販売を一時休止しており、リリースを出させて頂いております。 一方でこちらは原料メーカー様の設備トラブルによるものと把握しており、ナフサの供給問題に伴うものではないと認識しております。 なお、当社業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

注1：なお、あくまでも現時点での当社見解を示すものであり、今後の情勢変動に伴い当社見解が変動することもあります。

## ご留意事項

本資料は、当社の会社情報等の開示のみを目的として当社が作成したものであり、日本国、米国その他の一切の法域における有価証券の買付け又は売付け申し込みの勧誘を構成するものではありません。日本国、米国その他の法域において、適用法令に基づく登録若しくは届出又はこれらの免除を受けずに、当社の有価証券の募集又は販売を行うことはできません。

本資料の作成にあたり、当社は当社がその作成時点において入手可能な情報の真実性、正確性及び完全性に依拠し、かつ前提としており、その真実性、正確性及び完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、いかなる目的においても、第三者に開示し又は利用させることはできません。将来の事業内容や業績等に関して本資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、「目指す」、「予測する」、「想定する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「企図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」又は将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他の類似した表現を含みます。

将来予想に関する記述は、本資料作成時点において入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいて作成しており、これらの記述の中には、様々なリスクや不確定要素が内在します。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の将来における事業内容や業績等が、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なることとなる可能性があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。

当社は、新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更、更新又は訂正する一切の義務を負うものではありません。当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。